



道民カレッジロゴマーク
愛称「マナポー」

college news

カレッジだより

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

2011 Mar.

vol. 19

～ポー川史跡自然公園の歴史的価値とまちづくり～

標津町ポー川史跡自然公園 園長 梶田 光明



昨年11月18日に道民カレッジ「ほっかいどう学」出前講座が標津町で開催された。私は現地学習「地域の歴史を知る」で、ポー川史跡自然公園を案内させていただいた。現代社会の横に広がる世界に対して、過去から未来へと続く自然や社会の歴史という縦のつながりを意識してもらえよう案内をした。

ポー川史跡自然公園は、国の史跡標津遺跡群伊茶仁カリカリウス遺跡と国の天然記念物標津湿原の指定地をメインとして資料館や開拓の村が併設されている。遺跡と湿原がセットで保存されているのは全国でも珍しく、指定地の面積は合わせて620ha、史跡の指定地は407haで全国の史跡中第4位の広さを持っている。遺跡は窪んだままの竪穴住居跡群が特徴で、7,000年前の縄文時代から700年前の擦文時代にわたり、その窪みは2,500余りを数え北海道を代表する遺跡にあげられている。

カリカリウス遺跡は、縄文時代から続縄文、擦文時代そしてアイヌ文化期に渡って人々が集落を繰り返し営み続けたことに特徴がある。多くの遺跡が一時期だけ営まれただけなのに比べ、時代文化が変わっても人々を引き付ける魅力的な場所であったと言える。

平成19年に北海道、北見市、標津町の三者で標津遺跡群と常呂遺跡を「北海道東部の窪んだまま残る大規模竪穴住居跡群」の名称で世界文化遺産暫定一覧表への記載するよう文化庁に提案をした。暫定一覧表への記載には至らなかったものの暫定一覧表候補の資産として位置づけられている。

今年度公園では、町民の有識者からなる活用検討委員会を設けてさまざまな公園の活用について提言をいただいた。また、公園ガイド、ポー川でのカヌー体験インストラクターの講習会を開き試行的に実施してきた。来年度は、提言を生かして活用計画の立案と、公園ガイド、カヌー体験を観光ガイド協議会を始め多くの町民と連携してメニュー化し、来園者に提供することを考えている。

青年や退職者などさまざまな年代のガイドやカヌーのインストラクターの卵が、公園の魅力を伝えようと学ぶ中で、遺跡や湿原の価値が評価され、ひいては町民、来園者にその評価が伝わることを期待される。町民が少しずつ力を出し合い歴史や自然遺産の保護や活用を支えていくことで遺産が活かされ、町民が遺産から学ぶことによって得るものが大であればと思う。



称号取得者等「学習活用セミナー」を開催

道民カレッジの称号取得者及びモニター等が集い、これまでの学習の成果を生かし取り組んできた活動について情報交換し合い、さらなる活動への広がりを探ることを目的に、XI回、XII回を開催しました。

I. 学習活用セミナーXI

- 1 テーマ 「地域で出来ることを探そう!!」
- 2 期 日 平成22年9月15日（水）
- 3 会 場 道民活動センター「かでの2・7」10階 1040号室
- 4 研修内容
(1) 講 義 「地域で出来ることを探そう!!」
講 師 北の未来塾21主宰 河地 良一 氏
(2) 参加型学習プログラム
「地域やグループ、サークル、個人の事例を話し合おう」
 - ・参加型学習プログラム：グループワークについて
 - ・より具体的な活動について
 - ・まとめ・質疑応答
- 5 参 加 者 38名

—— 成 果 ——

- ・参加型の学習プログラムを取り入れ、地域やグループ・個人で何が出来るか考え、話し合うことができた。
- ・経験豊かな講師のわかりやすく、説得力ある話を聞いて、意欲化が図られた。



河地講師



グループワーク



各グループによる発表

II. 学習活用セミナーXII

- 1 テーマ 「生きること、学ぶこと、つなぐこと」
- 2 期 日 平成23年2月21日（月）
- 3 会 場 道民活動センター「かでの2・7」6階 学習室（AB）
- 4 研修内容
(1) 講 義 「生きること、学ぶこと、つなぐこと」
講 師 北翔大学 非常勤講師 渡部 英昭 氏
(2) 実践発表 (1)「私の生涯学習講座の歩み」
道北圏ボランティア 田上 唯勝 氏
(3) 実践発表 (2)「生涯学習人！ 学ぶだけでは、もったいない」
十勝圏ボランティア 佐藤 文彦 氏
(4) 講 評
- 5 参 加 者 60名

—— 成 果 ——

- ・生涯学習社会を心豊かに生き抜くことの重要性を講師から学ぶことができた。
- ・二人の地域での実践発表を聞いて、リーダーの果す役割の重要性を認識することができた。



会場風景



渡部講師



田上発表者



佐藤発表者

特集 道民カレッジ・アンケート集計

道民カレッジの運営に関わり、皆様のご意見等聴取するため、道民カレッジモニターの方々にアンケートをお願いいたしました。「ほっかいどう学大学放送講座」「ほっかいどう学出前講座」「連携講座」について、記号による回答の他、記述していただく箇所では、貴重なご意見も多く、今後の運営に生かせるものと感謝しております。ここでは、紙面の都合上20項目のうち8項目の調査結果をお知らせいたします。

調査の概要

1. アンケート調査の対象

道民カレッジモニターの皆様

2. 調査期間

平成22年10月～平成22年12月

3. 回答数

216名中103名（回答率47.6%）

「ほっかいどう学大学放送講座」について

- 今年度、大学放送講座を受講しましたか。

受講した。	75人	72.8%
受講していない。	27人	26.2%
無回答	1人	1.0%

※「受講していない」と回答された方の理由：体調が悪くて。ジャンルに興味がない。単位取得済。

- 今年度はどのような方法で大学放送講座を視聴しましたか。（複数可）

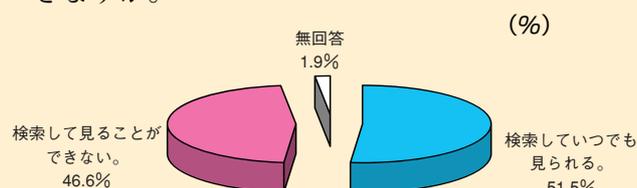


- 今後も大学放送講座は開講したほうがよいと思いますか。

開講したほうがよい。	89人	86.4%
開講しなくてもよい。	12人	11.7%
無回答	2人	1.9%

「連携講座」について

- 連携講座はガイドブックに掲載していますが、ガイドブックに掲載できない講座は、道民カレッジホームページに掲載していますが、検索できますか。



「ほっかいどう学出前講座」について

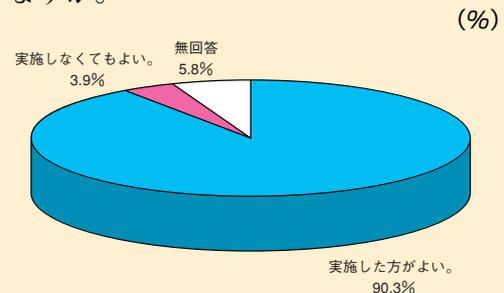
- 今年度の出前講座を受講しましたか。

受講した。	34人	33.0%
受講していない。	68人	66.0%
無回答	1人	1.0%

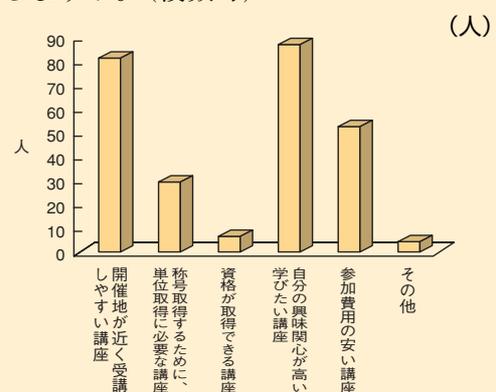
- 上記で受講したと回答した方にお聞きします。出前講座は有意義な内容でしたか。

大変有意義でした。	24人	70.6%
普通でした。	7人	20.6%
あまり役に立たなかった。	2人	5.9%
無回答	1人	2.9%

- 出前講座は、地域課題解決のための地域・人づくり講座ですが、今後も実施したほうがよいと思いますか。



- 出連携講座を受講するとき、どのような講座を選択しますか。（複数可）



新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成22年9月1日～平成23年3月2日)

(敬称略 本人から承諾を得ている方を掲載しています。)

● 学長奨励賞 (4000単位取得) ●

榎本 聰子 (札幌市)

● 学長奨励賞 (2000単位取得) ●

斎藤 和男 (札幌市)

● 学長奨励賞 (1000単位取得) ●

中塚 豊 (札幌市) 坂本 繁光 (音更町) 犬養 希佑 (札幌市)
佐々木光雄 (札幌市) 酒井 清美 (湧別町)

● 博士 (300単位取得) ●

松浦 数義 (札幌市・ほ)
佐藤 文彦 (帯広市・健)
伊藤 義孝 (芽室町・ほ)
石岡由利子 (鹿部町・ほ)
山田 芳二 (札幌市・教)
中島 洋一 (札幌市・ほ)
小嶋 舞子 (北斗市・ほ)
酒井 清美 (湧別町・環)

中塚 豊 (札幌市・ほ)
青木 秀子 (札幌市・教)
三谷 馨 (札幌市・ほ)
石原 照子 (函館市・ほ)
菊地 忠義 (札幌市・ほ)
美島 敏弘 (北広島市・ほ)
入谷 輝男 (旭川市・教)

傳寶 博愛 (札幌市・健)
内田美佐子 (音更町・教)
中野 和子 (函館市・健)
柿倉桂三郎 (北見市・健)
渡辺 常雄 (江別市・教)
林 葵 (帯広市・ほ)
田中 裕史 (帯広市・環/教)

● 修士 (200単位取得) ●

塚田 洋子 (音更町・ほ)
橋詰 正和 (札幌市・教)
青木 秀子 (札幌市・教)
田仲 可昌 (森町・健)
石原富士雄 (函館市・ほ)
大方 英雄 (旭川市・健)
永原 清 (札幌市・ほ)
藪谷 義雄 (帯広市・能/健)
夏伐 数夫 (北見市・教)
松尾 睦美 (札幌市・環)
柿村一枝子 (札幌市・教)

山田 芳二 (札幌市・教)
中塚 豊 (札幌市・ほ)
内田美佐子 (音更町・環/教)
酒井 清美 (湧別町・環)
佐藤 文彦 (帯広市・環/能)
秋元 博子 (札幌市・教)
坂本 繁光 (音更町・環/教)
林 君雄 (札幌市・環)
後藤 薫 (札幌市・ほ)
西川 暢一 (旭川市・教)
松浦 数義 (札幌市・能)

土佐林 薫 (札幌市・ほ)
傳寶 博愛 (札幌市・健)
矢野 忠雄 (札幌市・環)
山石 純男 (札幌市・ほ)
柿倉桂三郎 (北見市・健)
藪崎 孝一 (札幌市・教)
金田 英男 (帯広市・能/環)
増子 和子 (美幌町・教)
入谷 輝男 (旭川市・教)
久保田和夫 (旭川市・ほ)
田村 恒夫 (釧路町・能)

● 学士 (100単位取得) ●

藪内 孝一 (札幌市・教)
塚田 洋子 (音更町・環/教)
平瀬 春吉 (岩見沢市・ほ)
本間 清通 (札幌市・ほ)
小橋 忠男 (名寄市・教)
松浦 宙子 (札幌市・ほ/環)
秋田 実 (余市町・ほ)
宮本 高市 (帯広市・能/環/教)
金田 英男 (帯広市・教)
田村 恒夫 (釧路町・能)
佐藤志於里 (帯広市・環)

安達 賢二 (札幌市・環)
永井 廣 (石狩市・環)
中塚 豊 (札幌市・ほ)
宇賀 邦久 (札幌市・環/教)
邊見 和毅 (札幌市・能)
山崎 繁光 (室蘭市・環)
小敷澤幸子 (北広島市・教)
松浦 数義 (札幌市・能)
大野とみ子 (上川町・教)
田中 裕史 (帯広市・能/健)
鈴木 努 (上富良野町・健)

品田 紀子 (小樽市・ほ)
林 葵 (帯広市・環)
傳寶 博愛 (札幌市・健)
入谷 輝男 (旭川市・環)
田中 豊實 (音更町・健)
中西 紀悦 (札幌市・教)
藤内 英夫 (札幌市・ほ)
坂本 繁光 (音更町・能)
鈴木 正子 (札幌市・教)
松下 芳子 (江別市・健)

(注) ほ：ほっかいどう学 能：能力開発 環：環境生活 健：健康・スポーツ 教：教養

称号取得者等

学 士	修 士	博 士	学長奨励賞			
			1000単位	2000単位	3000単位	4000単位
452人	304人	226人	40人	8人	1人	1人

カレッジだより Vol.19

平成23年3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階

TEL (011) 204-5780 FAX (011) 281-6664

URL <http://www.manabi.pref.hokkaido.jp/college/>

Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp

